

労働力調査（基本集計）

2021年（令和3年）4～6月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6672万人と、前年同期に比べ21万人の増加
- ・ 完全失業者数は209万人と、前年同期に比べ15万人の増加
- ・ 完全失業率（原数値）は3.0%と、前年同期に比べ0.2ポイントの上昇

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、南関東、北関東・甲信、北陸、近畿、中国、九州及び沖縄は増加、東海は同数、北海道、東北及び四国は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、南関東、北関東・甲信、東海、近畿、中国及び九州は増加、北陸、四国及び沖縄は同数、北海道及び東北は減少

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.9%	(0.4ポイント低下)	近畿	3.3%	(0.3ポイント上昇)
東北	2.9%	(前年同期と同率)	中国	2.5%	(0.3 ")
南関東	3.3%	(0.1ポイント上昇)	四国	2.8%	(0.1 ")
北関東・甲信	3.1%	(0.7 ")	九州	3.1%	(0.1 ")
北陸	2.0%	(0.2ポイント低下)	沖縄	3.7%	(0.2 ")
東海	2.6%	(0.5ポイント上昇)			

図1 地域別完全失業率

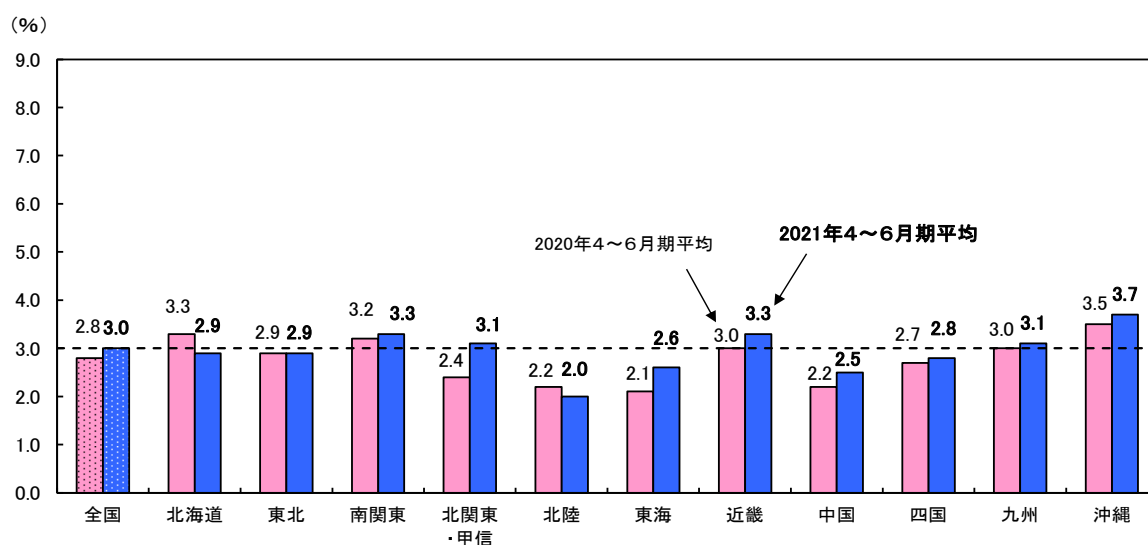


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

